新聞に掲載されました！

第 14 回広島県ＮＩＥ教育奨励賞

「ＮＩＥ優秀奨励賞受賞」関連記事

海田西中 初の最優秀

広島県推進協の教育奨励賞

NIE（エヌアイイー）
教育に新聞を

NIE（教育に新聞を）活動を後押しする広島県NIE推進協議会（朝倉淳会長）は15日、教育現場での優れた取り組みをたたえる「県NIE教育奨励賞」の受賞者を発表した。最優秀の優秀奨励賞は、海田西中（広島県海田町）が初めて受賞した。

海田西中は社会や国語をはじめ、音楽、保健体育など多くの教科で新聞を教材として使っている。学校司書や生徒が、25年ぶりにリーグ優勝した広島東洋カープやリオデジャネイロ五輪を伝える記事を特集して図書室の周辺に掲示するなど、生徒が新聞に親しみやすい環境も整えた。

朝倉会長は「新聞を身近に感じてもらう環境づくりは中学校では少ない。学校を挙げた取り組みが伝わってくる」と評価した。

FML エフエムエル 医学と共に――24時間 福山臨床

2015年4月から16年12月までに実践した学校や教員が対象で、応募35点から選ばれた。奨励賞10点も決まった。（村田拓也）

奨励賞の受賞者と受賞校は次の通り。（敬称略、在籍校は実践時）

米元愛子（福山市・御幸小）志田原千晴（同・山南小）宇根昭典（江田島市・中町小）西畠恵子（府中市・栗生小）伊藤公一、渕山真悟、徳永奈美、杉川千草（三原市・広島大付属三原小）池本邦彦（広島市中区・基町高）為重慎一（海田町・広島国際学院高）造賀小（東広島市）海田西小（海田町）国府小（府中市）

▲中国新聞
（平成 29 年3月 16 日掲載）

海田西中に優秀奨励賞

県推進協 受賞者・団体を発表

NIE
Newspaper in Education
教育に新聞を

県NIE推進協議会（会長＝朝倉淳・広島大大学院教授）は15日、第14回県NIE教育奨励賞の優秀奨励賞に海田町立海田西中を選んだと発表した。

同校は「〝西中だからこそ〟のNIE―『気付き 考え 実行する』足がかりに」と題し、各教科の授業で幅広く新聞を取り入れ、生徒が新聞に親しむため多数の号外の掲示など多角的な活動を続けている。審査委員長の朝倉会長は「各教科・領域にわたり、学校を挙げて取り組んでいる。学校司書と一緒に新聞に対する空気を身近にしているのも特徴的だ」と講評した。【大坪康臣】

奨励賞受賞者・団体は次の通り。（敬称略）

光元愛子（福山市立御幸小）▽志田原千晴（福山市立山南小）▽東広島市立造賀小学校教職員一同▽宇根昭典（江田島市立中町小学校）▽海田町立海田西小学校▽府中市立国府小学校▽西畠恵子（府中市立栗生小学校）▽伊藤公一、渕山真悟、徳永奈美、杉川千草（広島大学付属三原小学校）▽池本邦彦（広島市立基町高校）▽為重慎一（広島国際学院高校）

▲毎日新聞
（平成 29 年3月 16 日掲載）

海田西中 優秀奨励賞に輝く

NIE
教育に新聞を

NIE（教育に新聞を）活動に取り組む個人やグループ、学校を表彰する「第14回県NIE教育奨励賞」の受賞者が決まり、県NIE推進協議会（会長＝朝倉淳・広島大大学院教授）が15日発表した。県内の小中高校から計35点の応募があり、海田町立海田西中学校のリポートが最優秀賞にあたる優秀奨励賞に輝いた。

海田西中は「〝西中だからこそ〟のNIE―『気付き 考え 実行する』足がかりに―」のタイトルで、各教科ごとに新聞活用を工夫する学校を挙げての取り組みをリポートした。

審査委員長の朝倉会長は「図書委員会の活動によって新聞のおもしろさを伝え、学校司書と一緒になって新聞に対する空気を身近にしているのも特徴的。西中だからこそ『NIE環境』を作っている」と講評した。（副島英樹）

このほか、奨励賞10点は以下の通り。（所属は活動の実践時）

光元愛子（福山市立御幸小学校）▽志田原千晴（福山市立山南小学校）▽東広島市立造賀小学校教職員一同▽宇根昭典（江田島市立中町小学校）▽海田町立海田西小学校▽府中市立国府小学校▽西畠恵子（府中市立栗生小学校）▽伊藤公一、渕山真悟、徳永奈美、杉川千草（広島大学付属三原小学校）▽池本邦彦（広島市立基町高校）▽為重慎一（広島国際学院高校）

▲朝日新聞
（平成 29 年3月 16 日掲載）